

小松島市第6次総合計画後期基本計画（素案）に対する
パブリックコメントの実施結果について

- | | | |
|---|-------------|--------------------------|
| 1 | 意見募集案件 | 小松島市第6次総合計画後期基本計画（素案） |
| 2 | 意見募集期間 | 令和4年1月7日（金）～令和4年1月21日（金） |
| 3 | 閲覧場所 | 市ホームページ
市企画政策課（市役所3階） |
| 4 | 意見提出方法 | 郵送、ファクシミリ、電子メール、直接持参 |
| 5 | 意見提出者数 | 5名 |
| 6 | 意見提出件数 | 5件 |
| 7 | 意見の内容と市の考え方 | 別紙のとおり |

※ なお、いただきましたご意見についての個別回答はいたしません。

意見の内容と市の考え方

No.	意見の内容	市の考え方・対応
1	<p>徳島小松島港赤石地区の水面9.4haは貯木場としての役目を終え、次の出番を10年待ってきました。</p> <p>日本の伝統文化遺産を継続し、後世に残す場として、「和船文化体験センター」を誘致してはどうでしょうか。老若男女が、にぎやかに、海に親しめ、鍛錬の場ともなります。全国からも有志を呼び込み、主として櫓漕ぎの技術を取得して自力で小舟を操船するのです。そして同時に愛の心をはぐくんでいく。</p> <p>そのような目的をかなえるためには、この総合計画に、ぜひとも取り込む必要があります。小松島市でアドバルーン上げ、みなと小松島にふさわしい計画にしませんか。(素案)の中では陸上からの視点がほとんどで、海上での地域おこしの観点が抜けているようです。</p> <p>安易な埋め立てに走るより、小松島に残された貴重な水面の有効活用を考え、観光資源をつくり出し、海からのにぎわいを取り戻しましょう。</p>	<p>ご提案いただきました件につきましては、本市の地域資源としての港をいかしたひとつの取り組みと存じます。</p> <p>いただいたご意見は今後、本市の有効資産を活用したにぎわいの創出を行う上での参考とさせていただきます。</p>
2	<p>5ページ ○小松島版ネウボラ：注釈でネウボラの説明を入れたらどうでしょうか？</p> <p>51ページ ○感染症に関する情報を広報やホームページ等を通して適切に発信を行います。 また、新型インフルエンザ住民接種実施計画を策定する必要があります。新型コロナウイルスも入れたらどうでしょうか？</p>	<p>ご提案いただきました件につきましては、市民の皆様に対して分かりやすい総合計画とするため、「ネウボラ」をはじめ、分かりにくい語句には注釈等を追記していきます。</p> <p>新型インフルエンザ住民接種実施計画は、今後発生や流行が懸念され、国からの接種指示に適切に対応するための計画策定であるため記載しています。</p> <p>新型コロナワクチン接種については、すでに住民接種が一定程度進んでいる状況であるため、「感染症予防・対策の強化」において、新しい生活様式等を踏まえて、施策に取り組んでまいります。</p>

No.	意見の内容	市の考え方・対応
3	<p>私は、NPO 法人あわホームホスピス研究会の代表を2013年より努めております。こまつしまが故郷ですが、30年間他県で地方自治体に勤務しておりました。医療技官という身分です。故郷徳島県に貢献したいと考え10年前にUターンいたしました。愛するこまつしまには、多くのUターンUターンの老若男女がおられます。そして、中山市長が就任されてから、先進的視点での各部署のとりくみやイベントの新設など共感する取り組みがキラ星のごとく見受けられます。これらは大変歓迎するべきものと今まで以上に行政の動向に注目いたしております。素案についても拝読いたしました。各部署の計画案について、妥当だと理解いたしました。</p> <p>行政の常ですが、各部署ごとに計画も業務も縦割りに細分化されております。素案にもそのありようがそのまま反映されております。要するに素案が縦割りの状態であるわけです。行政の皆さんにとってそれが当たり前でも、市民にとっては違和感のあるものです。市民の衣食住は縦割りでなく、複雑に絡み合って暮らしております。</p> <p>そこで提案いたします。当会のミッションの一つは地域住民をつなげる（異業種違背景）ことです。同様に小松島の未来の在り方についても「多部署異部署が一同に会して」こんな小松島に住みたいを予算抜きに発案しあう会議を開催してはどうでしょうか。立場肩書を抜きにした夢を語る機会を設けてみてください。わたくしがファシリテーターをさせていただいても結構です。</p>	<p>総合計画を推進するにあたっては、組織横断的かつ柔軟な対応が必要であると認識しており、タスクフォースやプロジェクトチームなど庁内組織を立ち上げ、部局を超えた課題に取り組んでいます。</p> <p>また、市民や関係機関との対話の場を積極的に設ける等、「広報・広聴の充実」に努め、これからも住み続けたいと思っただけのように取り組んでまいります。</p>
4	<p>1. 行政が市民住民に穏やかな日々を提供するのを基本の使命や役割とする以上その町の「総合計画」とうたわれるものはおしなべて包括的に生活全般、インフラ、災害対策、教育、医療介護、農水産を含む産業振興、交通等々全般にわたることは避けられないことと思います。</p> <p>だけどもなにも面白くない。</p> <p>これで小松島の将来計画とはとてもとても言えません。</p> <p>この素案作成に携われた市職員の多くの努力に敬意をはらいます、が垣間見れる外部の方々のサポートなしにはこの「素案」はできなかったのではと思わせます。</p> <p>現行政スタッフに、もっと勉強しろ、市の将来を考えろ、と声をかけ励まし、現職員のとんがった無鉄砲な意見やアイデアを期待します。</p> <p>また行政が「委託」ではなく「自前」で計画が</p>	<p>職員の人材育成については、「小松島市人材育成基本方針」に基づき、以下記載の5つの視点で取り組んでおります。引き続き、この方針により職員の人材育成に努めてまいります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1：高い倫理観と使命感のある職員 2：高い問題意識と自己啓発能力を持った職員 3：コストと効果を考えて行動する職員 4：組織内外の協力、協働を大切にする職員 5：広い視野と高い専門性を持つ職員

	<p>書けるよう職員の「養成」「採用」を期待します。</p> <p>2. 提案を2つします。ご検討くだされば幸いです。</p> <p>① 行政が行う各種会議の日程、内容等々を公開し市民住民の傍聴を促し、議事討議内容を公開し市民住民の行政への参画やチェック意識の向上を図ることをお考えください。</p> <p>たしかにいくつかの審議会等は広報に書かれ参加を促す記載がなされています、しかしそれはほんの一部、例えば教育委員会の毎月の定例会議は広報に記載されたことはありません、傍聴を促すものも見たことがありません。</p> <p>今小学校再編で度々言及されるコミュニティースクール「学校運営委員会」についてもすでに開催されていますが、そのメンバーや議論の内容について公表されてはいません。</p> <p>行政においてもどんな会議が行われているのかはたしてその全容を把握しているのか疑問です。</p> <p>行政が行っている「会議」を洗い出し、データベース化し、市民住民に公開し参加傍聴を促し行政市民住民が「議論」できる環境や空間をたいへん難しいことですが作っていくことをご検討ください。</p> <p>② 本港地区の再開発を考えるプロジェクトチームを市長をキャップに5～6名で立ち上げる。ことをご検討ください。</p> <p>これは簡単な話として、本港地区を小松島市の住民が2万人、20年先の市の中核エリアにする。そのための企画や構想を立案するだけです。こんなことは既存の組織や会議ではできないですから新しく若い経営者、若い農業漁業者、等々でチームを立ち上げ立案するだけです。</p> <p>小松島の20年後の基本のすがたをが描くことができればインフラ、交通、防災等々も描けます。</p> <p>「簡単な話し」と書きましたが本当は「厄介なめんどくさい話し」です、でも「大事な話し」です。よろしくご検討ください。</p>	<p>また、小松島市行政情報公開条例に基づき、附属機関等の会議の公開も進めるとともに、本港地区の活性化については、いただいたご意見を今後、具体的な事業を検討していく上での参考とさせていただきます。</p>
5	<p>企業等の税収が余り見込めないという前提で、収入源は、住民税等、住民に頼るようになると思います。環状線等、道路整備が進むという前提で、小松島市は、徳島と阿南の中間地点で住むには程よい立地だと思います。</p> <p>5年、10年という長いスパンでみて</p>	<p>ご提案いただきました件につきましては、庁内で共有し、今後、事業を検討していく上での参考とさせていただきます。</p>

①健康町内ラジオ体操運動

各町内で子供の時にしたような、ラジオ体操をして手帳を配布し、スタンプを集めて、その数に応じて粗品（景品）を市が提供する。景品は、地元で調達する（地場産業の品物）。月から金迄、運営スタッフはシルバーでしてくれる人がいれば、バイトとしてしてもらい、いなければ老人会等に有償で委託する。そのスタンプもランクアップの企画を入れる。健康になれば、医療費に関係してくると思います。雨の日でも市内でできる施設があればと思います。小松島が長寿の市となれば打算抜きで住みよい町になると思います。

②小松島の高校のレベルアップ

子供が今後、益々、少なくなってくると思います。そのなかで子供に支出する教育関連の金額は増えると思います。小松島市に住んでいて市外の高校に行かせるのは、もったいないと思います。逆に、小松島高校は、南駅に近いという好立地は、使う手はないと思います。

徳島市内の高校の理数科、阿南の理数科の教員を他校と同じように常時、小松島高校に回してもらい偏差値を上げるようにする。

事実かどうか知りませんが、以前、松高に徳島市内の理数科の先生がこられて、その時分、かなりレベルの高い大学に進学できたと聞きました。自分の経験から思うに、先生の力はかなり大きいと思います。特に、松高は一次募集で定員割れにならないよう、人気のある高校に変わってほしいと思います。

松西は、県下に名が通っていて、もっと中身の濃い高校をめざしてほしいです。

子供の為に、市外に引越すとか、住民票を移すとかないように。